



江東区社会福祉協議会
福祉サービス課 福祉サービス係

企業・団体向け 社内フードドライブ説明資料

～「もったいない」を「ありがとう」に SDGsアクション推進～
2025年8月作成



江東区社会福祉協議会
マスコットキャラクター
「ふっこくー」

もくじ

- 01 フードドライブとは
- 02 なぜフードドライブが必要なの？
- 03 集めた食品はどのように役立てられるの？
- 04 社内フードドライブの実施手順
- 05 受け取れる食料品について
- 06 実施後の報告について
- 07 よくある質問
- 08 お問い合わせ・ご相談はこちらまで

01 フードドライブとは

フードドライブとは、家庭で余っている食品を持ち寄り、フードバンク団体や社会福祉協議会等を通じて、広く福祉団体や施設、支援を必要としている困窮世帯などに提供する活動です。

食品をごみとして捨てることなく、必要な人へと届けることができる、食品ロス削減へ向けた取り組みです。

フードドライブは、企業単位でも企業内の一部署でも行うことができます。従業員のSDGsに対する意識の向上や、社会貢献活動として企業価値の向上も期待できるなど、多くのメリットがあります。



02 なぜフードドライブが必要なの？

■ 日本の食品ロスの現状と食料自給率

日本の食品ロスは、年間約464万トン（令和5年度推計）※1にも上ります。これは、まだ食べられるにもかかわらず捨てられてしまう食品の量で、そのうち約半分が家庭から、残りの半分が企業から発生しています。

この量は、日本国民全員が毎日お茶碗1杯分のご飯を捨てている計算になります。一方で、日本の食料自給率は低く、カロリーベースで38%※2（令和5年度概算）と、食料の多くを海外からの輸入に頼っています。世界的に見ても日本の食料自給率は低い水準にあります。

つまり、日本は食料の多くを海外から輸入しているにもかかわらず、大量の食品を捨てているという大きな矛盾を抱えています。その一方で、近年の物価高騰により、日本では経済的な理由で食事に困っている方々も少なくありません。

■ フードドライブの必要性

フードドライブは、この「食品ロスの現状」と「食料自給率の低さ」、そして「貧困問題」という3つの社会課題をつなぐ重要な取り組みです。

1. 食品ロスの削減: 家庭で余っている食品を寄付することで、廃棄される食品を減らし、食品ロス削減に貢献します。
2. 食料資源の有効活用: 海外から多くの食料を輸入している中で、フードドライブは国内の限られた食料資源を有効活用する手段となります。
3. 食糧支援: 寄付された食品は、生活困窮世帯やこども食堂などに届けられ、食べ物を必要としている人々への支援となります。

フードドライブは、個人が身近な形で社会課題の解決に貢献できる活動であり、食品ロスの削減、食料自給率の矛盾解消、そして貧困問題の解決という多角的な側面から、その必要性が高まっています。

【出典】

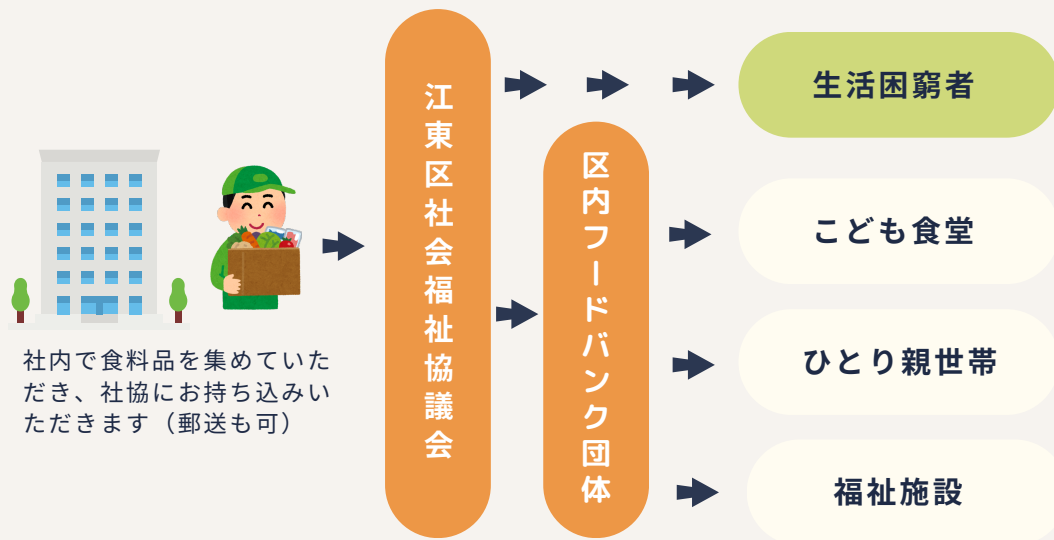
※1 環境省、消費者庁、農林水産省『我が国の食品ロスの発生量の推計値』（令和5年度）

※2 農林水産省『令和5年度食料自給率・食料自給力指標について』



03 集めた食品はどのように役立てられるの？

皆様からご寄付いただいた食品は、江東区社会福祉協議会や、区内フードバンク団体を通じて、支援を必要としている方のもとへ届けられます。



(参考) ご寄付いただいた食品例



04 社内フードドライブの実施手順

STEP 1 食品寄付先（江東区社会福祉協議会）との事前調整

ご寄付いただく食品の賞味期限や量、搬送方法等について調整を行います。

STEP 2 社内での実施場所・食品回収期間等を決定する

フード回収BOXの設置場所や、回収期間等について社内で検討を行います。
食品の回収期間は通常、数週間～1か月程度を見込みます。

STEP 3 周知する

社内報や掲示板、チラシ、ポスター等でフードドライブの実施を事前に周知します。（約1か月前）
その際、受付可能な食品の注意事項や、回収した食品の活用方法を併せて周知します。

STEP 4 実施する

【用意するもの】
フード回収BOX、受付机、計量器、POP 等。

STEP 5 集まった食品を集計・記録する

集まった食品の数量・重量の集計、写真撮影などを行います。
集計結果や写真は、内部報告や外部公表などにご活用ください。

STEP 6 集まった食品を寄付先に届ける

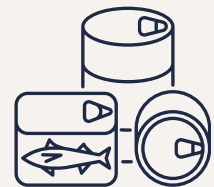
宅配便でのご送付、直接のお持ち込み、またはご希望に応じて回収に伺うことも可能です。
領収書が必要な場合は、事前にお申し付けください。

 フェーズは状況に応じて前後可。

05 受け取れる食品について

✓ お受け取り可能なもの

- ・ 賞味期限が2カ月以上ある常温保存品で未開封のもの
- ・ お米（精米後1年以内のもの）
- ・ レトルト食品、インスタント食品
- ・ のり、お茶漬けの素、ふりかけ、缶詰
- ・ 菓子類



✗ お受け取りが難しいもの

- ・ 賞味期限が明記されていない食品
- ・ 賞味期限が2カ月未満の食品
- ・ 生鮮食品や常温で保存できないもの
- ・ 開封されているもの
(中身が未開封なら可)
- ・ 飲料
- ・ 調味料
- ・ サプリメント、保健機能食品等、配布対象者が限定されるもの



06 実施後の報告について

江東区社会福祉協議会では、食品をお渡しした方からの「感謝の声」を、ご寄付くださった企業・団体様へお伝えしています。

また、ご寄付いただいたことは、許可をいただいた上で、当会のSNSやホームページでご紹介しています。

(参考)「感謝の声」一例



収入がなくなり、たいへんこまっていたところ
にすかりました。



この度はたくさんの食料支援をしていただきありがとうございます。
とても困難な状況の中にあることを助かります。
子供達と大切に使いさせていただきます。
本当にありがとうございます。



皆様

今回はありがとうございました。
今後は私も寄付できるよう、生活を安定させていきたいです。

07 よくある質問



▶災害備蓄品が大量にあるのですが、寄付できますか？

まずはご相談ください。ご提供いただく数量に応じ、当方にて受領数量を調整させていただく場合があります。また、物品の種類によってはご寄付をお受けできない場合があります。



▶寄付の対象（子ども・高齢者等）は指定できますか？

基本的には生活困窮世帯へのお渡しとなります。ただし、ご相談内容に応じて、寄付品の一部をこども食堂やその他の福祉施設へお渡しできる場合があります。ご相談ください。



▶どのくらいの量から寄付できますか？

缶詰1つ等、少量からご寄付いただけます。



▶食品を回収に来てもらうことは可能ですか？

お打合せの上、郵送またはお持ち込みが難しい場合は、回収に伺います。

08 お問い合わせ・ご相談はこちらまで

フードドライブ活動にご興味を持っていただきありがとうございます。
ご相談は小さなことでも構いません。
どうぞお気軽にお問い合わせください。



江東区社会福祉協議会 福祉サービス課 福祉サービス係
(食糧支援担当)

📞 お問い合わせ

03 - 3647 - 1898

平日 09:00～17:00

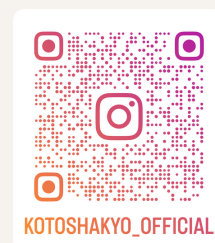
✉ メールでのお問い合わせ

fukushi@koto-shakyo.or.jp

🌐 Webサイト・Instagram

<https://koto-shakyo.or.jp/index.html>

@kotoshakyo_official



📍 所在地

〒135-0016 東京都江東区東陽6-2-17

江東区高齢者総合福祉センター 2F



江東区社会福祉協議会
マスコットキャラクター
「ふっこくー」